

助成事業実施報告書

団体名 つしま夢まちづくり食ラバース
代表者・役職名 氏名 代表 岩本眞一

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

食を通した多文化共生事業

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

愛知県津島市に開設されている日本アハマディア・ムスリム協会(パキスタン系)ジャパンモスクの屋外ダイニングキッチンで食文化を通した地域のコミュニティづくり拠点として、さらに外国籍の子どもや家族と地域の方が協働で創り上げるコミュニティ菜園づくり事業を展開して行きます。地域に住む日本の子どもたちやパキスタン国籍の子どもたちと家族を対象として、食文化体験会を通して地域に住む外国籍の子供たちや家族と地域住民が共生出来る環境づくりを目指します。毎月第4土曜日午後子ども食堂とフードパントリーを地域の子供たちやパキスタンの子どもやご家族を対象に開催します。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

子ども食堂の会場がイスラム教のモスク内の施設をお借りしているため、イスラム教の外国籍の方が多く出入りします。そのため食事においてムスリム(ハラール)を意識して開催しました。イスラム教では豚肉とアルコールがだめです。それを知らない日本の子どもやご家族の方は大変びっくりしていました。国籍の違う子供たちと一緒に食事したり遊んだりする機会もあり、新しく作り上げたコミュニティ菜園での野菜作りや収穫を体験することで、海外の子供たちと食育を兼ねた絆づくりも出来ました。子ども食堂は1回/月で12回、フードパントリー1回/月で12回、韓国食文化体験会1回、パキスタンのキーマカレー試食会を1回開催しました。参加者の多くの笑顔を見る事が出来ました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

今回のプロジェクトを通して、言語や食文化の違いや魅力を参加者の皆さんが理解できるための機会(回数)を増やして行くことの必要性や、子ども達に数多くの食文化体験を経験できる場や回数をいかに増やして行くかが課題です。

また、子どもたちのご家族にもしっかりと理解していただくために、より多くの情報と体験の場づくりが必要かと思っています。今後の展望として、今回は名古屋駐在の韓国総領事館のご協力を頂き「韓国食文化体験会」が金総領事をお迎えして開催が出来ましたので、その他の海外総領事館(7カ国)のご協力を頂き「海外の食文化体験会」の開催を目指し、子ども達にグローバルな体験が出来る機会を作りたいと考えています。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

コミュニティー菜園

【アハマディア・スマイルガーデン】



日本アハマディア・ムスリム協会ジャパンモスク野中地区に
新設された毎日のお菜園コミュニティー菜園「アハマディア・スマイルガーデン」が
開園のごちそうと高橋市長さん、モスクに挨拶する両地区のごちそうと人々
までのちにお菜園活動が盛り上げました。

この事業は高齢者の防犯会のご支援を頂き実施しました。

韓国食文化体験会 & パキスタンカレー

試食会開催しました

同地区(駐米古堡大韓民国総領事館)の依頼を受け、
「韓国食文化体験会 & パキスタンカレー試食会」を開催します。

韓国食文化コンパニオンプログラム体験会

パキスタン食文化/キーマカレー試食会

日 時(2025年)月(8日)土 日 11:00~14:00

場 所(日本アハマディア・ムスリム協会ジャパンモスク)



今回の韓国食文化体験会/パキスタンカレー試食会は
高橋市長よりご支援を頂き、大好評で開催しました。

